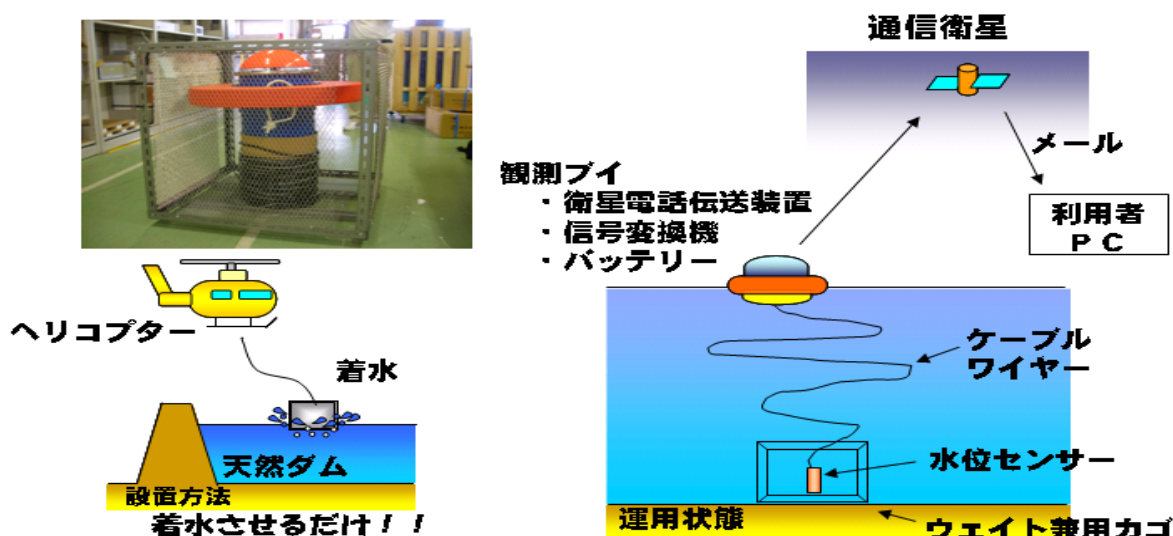


## 平成 20 年岩手・宮城内陸地震により発生した 河道閉塞（天然ダム）箇所での湯浜地区の水位観測 について

迫川の上流で、これまで険しい地形から水位計の設置が困難だった湯浜地区の河道閉塞（天然ダム）において、明日（5日）、ヘリコプターにより水位計を投下し、水位観測を開始します。この水位監視システムは、衛星電話回線を使用して水位変動量の観測を行うもので、独立行政法人土木研究所が今回の地震後に急遽開発したものです。

### 天然ダム緊急水位監視システム 『土研式投下型水位観測ブイ』

- ・ヘリコプターからの投下設置、即時運用が可能
- ・衛星通信システムを利用するため伝送システムの新たな構築が不要
- ・内部バッテリー使用可能のため発電機等が不要
- ・観測データは一定時間ごとにメール配信



(発表記者会) 宮城県政記者会、岩手県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会  
また、東北地方整備局災害現地対策本部（栗原市役所内）においても配布しています。

(問い合わせ先)

東北地方整備局 河川部 河川調査官 久米 英輝 (内 3513)  
夜間直通 022-261-7305  
流域・水防調整官 平石 進 (内 3518)  
夜間直通 022-227-6005

住所 仙台市青葉区二日町9-15  
電話 022-225-2171 (昼間)